

県内の景気動向

概況（2022 年 1 月）

景気は、後退している。

観光関連では、入域観光客数は前年を上回る

消費関連では、百貨店売上高は前年を下回る

消費関連は新型コロナウイルスの影響で悪化しているものの、2019 年の動きと比較すると下げ止まりの動きがみられること、建設関連は民間工事に再開の動きがみられるが、資材価格の上昇などを受け弱含んでいること、観光関連は、まん延防止等重点措置が発出され旅行需要が冷え込んだことで一時的に弱含んでおり（下方修正）、総じて県内景気は後退している（下方修正）。

消費関連

百貨店売上高は、初商は好調に推移したものの、オミクロン株の感染急拡大、まん延防止等重点措置発出に伴う外出自粛・消費マインド低下などにより前年を下回った。スーパー売上高は、まん延防止等重点措置発出に伴う外出自粛・消費マインド低下などにより衣料品、住居関連は減少したものの、巣ごもり需要の継続がみられたことなどにより食料品が増加したことなどから既存店ベースでは3カ月ぶりに前年を上回った。全店ベースは3カ月ぶりに前年を上回った。新車販売台数は、半導体をはじめとする部品供給不足に加え、国内工場での感染者発生による稼働停止が相次いだことなどから前年を下回った。電気製品卸売販売額は、家電量販店向け販売で白物・電子レンジ、エアコンなどが減少したことなどから8カ月連続で前年を下回った。

先行きは、新型コロナウイルスの影響により引き続き不透明感はあるものの、人流回復に伴う消費マインド向上が見込まれ、徐々に持ち直しに向かうとみられる。

建設関連

公共工事請負金額は、独立行政法人等・その他は減少したが、国、県、市町村は増加したことから、3カ月連続で前年を上回った。建築着工床面積（12月）は、居住用、非居住用ともに増加したことから3カ月連続で前年を上回った。新設住宅着工戸数（12月）は、貸家は減少したが、持家、分譲、給与は増加したことから2カ月連続で前年を上回った。県内主要建設会社の受注額は、民間工事は増加したものの、公共工事は減少したことから2カ月ぶりに前年を下回った。建設資材関連では、セメントは2カ月ぶりに前年を下回り、生コンは19カ月連続で前年を下回った。鋼材売上高は鉄スクラップなど原材料の需給ひっ迫により単価の上昇がみられることなどから前年を上回り、木材売上高は需給ひっ迫により木材価格が上昇したことなどから前年を上回った。

先行きは、民間工事に再開の動きがみられるものの、資材価格が上昇していることなどから弱含むとみられる。

観光関連

入域観光客数は、2カ月連続で前年を上回った。国内客が増加し、外国客は引き続き0人となった。県内主要ホテルは、稼働率、売上高は2カ月連続で前年を上回り、宿泊収入は2カ月連続で前年を上回った。主要観光施設入場者数は2カ月連続で前年を上回った。ゴルフ場は、入場者数、売上高ともに2カ月ぶりに前年を下回ったが、全般的には緊急事態宣言下にあった前年の反動増となった。しかしながらオミクロン株の感染急拡大を受けたまん延防止等重点措置発出により、新型コロナ以前の2019年と比較すると旅行需要の減退がみられた。

先行きは、日本入国時の水際対策措置継続により外国客が動き出すのは時間を要しよう。国内においては、足元ではまん延防止等重点措置発出により旅行需要停滞しているものの、新型コロナウイルス感染状況の落ち着きに伴い人流回復が期待され、徐々に持ち直しに向かうとみられる。

雇用関連

新規求人数（12 月）は、前年同月比 28.8%増となり 9 カ月連続で前年を上回った。医療・福祉、宿泊業・飲食サービス業などで増加した。有効求人倍率（12 月、季調値）は 0.82 倍で、前月より 0.01 ポイント上昇した。完全失業率（12 月、季調値）は 3.8%と、前月より 0.4 ポイント上昇した。

その他

消費者物価指数は、前年同月比 0.4%の上昇となり、4 カ月連続で前年を上回った。生鮮食品及びエネルギーを除く総合は同 1.4%の下落となった。

企業倒産は、4 件で前年同月を 1 件上回った。負債総額は 28 億 1,900 万円で、前年同月比 803.5%増となった。

りゅうぎん調査（2022 年 1 月）

増減率（％）

	前年同月比	前年同期比 (2021.11－2022.1)
1. 消費関連		
(1) 百貨店（金額）	▲ 16.3	▲ 7.3
(2) スーパー（既存店）（金額）	0.3	▲ 1.2
(3) スーパー（全店）（金額）	1.2	▲ 0.2
(4) 新車販売（台数）	▲ 22.7	▲ 16.3
(5) 電気製品卸売（金額）	▲ 19.1	▲ 13.0
2. 建設関連		
(1) 公共工事請負金額（金額）	64.1	28.2
(2) 建築着工床面積（m ² ）	(12月) 62.5	(10-12月) 37.6
(3) 新設住宅着工戸数（戸）	(12月) 15.8	(10-12月) 2.2
(4) 建設受注額（金額）	P ▲ 44.8	P ▲ 19.6
(5) セメント（トン数）	▲ 9.3	▲ 4.7
(6) 生コン（m ³ ）	▲ 21.1	▲ 18.5
(7) 鋼材（金額）	P 25.7	P 17.5
(8) 木材（金額）	14.3	9.6
3. 観光関連		
(1) 入域観光客数（人数）	56.0	19.4
うち外国客数（人数）	0.0	0.0
(2) 県内主要ホテル稼働率	(前年同月差) 7.3	(前年同期差) 1.5
	(実数) 18.8	(実数) 36.2
(3) " 売上高（金額）	49.1	3.7
(4) 観光施設入場者数（人数）	6.5	3.7
(5) ゴルフ場入場者数（人数）	▲ 3.0	3.4
(6) " 売上高（金額）	▲ 6.4	▲ 0.5
4. その他		
(1) 県内新規求人数（人数）	(12月) 28.8	(10-12月) 15.0
(2) 有効求人倍率（季調値）	(12月、実数) 0.82	(10-12月、実数) 0.81
(3) 消費者物価指数（総合）	0.4	0.6
(4) 企業倒産件数（件数）	(前年同月差) ▲ 1	(前年同期差) 1
(5) 広告収入（県内マスコミ）（金額）	(12月) 2.4	(10-12月) 5.2

（注 1）公共工事請負金額は西日本建設業保証株式会社沖縄支店調べ。建築着工床面積、新設住宅着工戸数は国土交通省調べ。県内新規求人数、有効求人倍率は沖縄労働局調べ。入域観光客数、消費者物価指数は沖縄県調べ。

企業倒産件数は東京商工リサーチ沖縄支店調べ。Pは速報値。

（注 2）百貨店は、2014 年 9 月より調査先が一部変更となった。

（注 3）2012 年 5 月より外国客の入域観光客数を掲載した。

（注 4）主要ホテルは、2021 年 11 月より調査先を 28 ホテルから 27 ホテルとした。

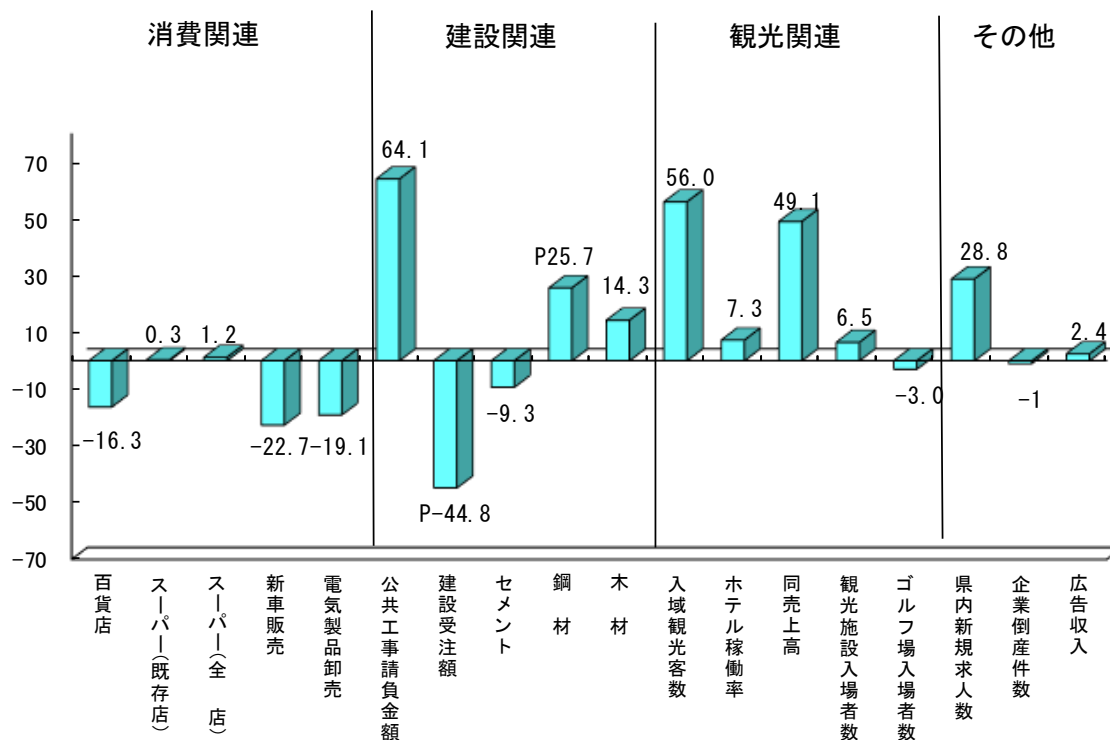
（注 5）2016 年 7 月より企業倒産件数の前年同期差は、3 カ月の累計件数の差とする。

（注 6）建設受注額は、2021 年 1 月より調査先を 18 社から 17 社とした。

（注 7）有効求人倍率（季調値）と県内新規求人数（人数）は、就業地ベース。

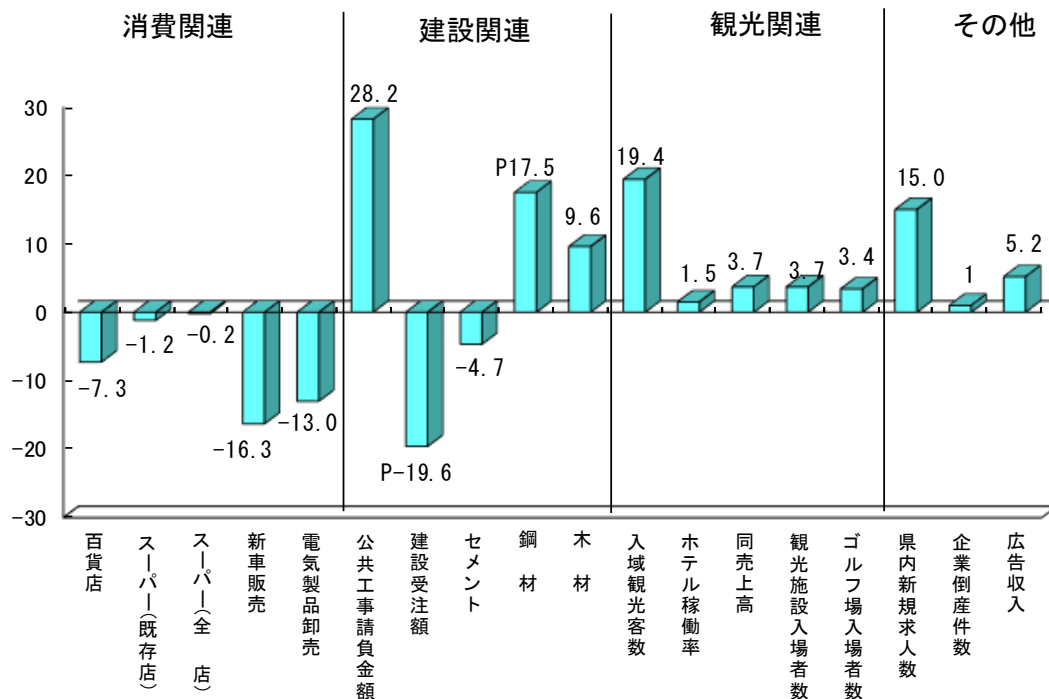
（注 8）ゴルフ場は、2021 年 4 月より調査先を 8 ゴルフ場から 6 ゴルフ場とした。

項目別グラフ(単月、2022年1月)



(注) 広告収入は21年12月分。数値は前年比(%)。Pは速報値。
ホテル稼働率(%ポイント)、企業倒産件数(件)は前年差。Pは速報値。

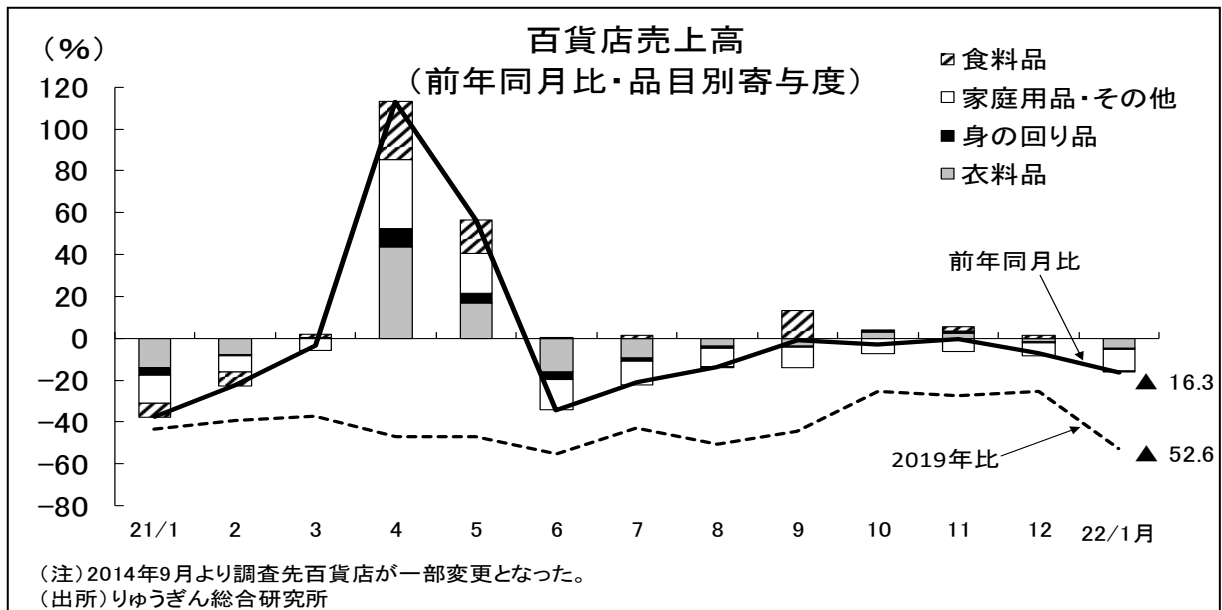
項目別グラフ(3カ月、2021年11月～2022年1月)



(注) 広告収入は21年10月～21年12月分。数値は前年比(%)。
ホテル稼働率(%ポイント)は前年差。企業倒産件数(件)は3カ月の累計件数の前年差。Pは速報値。

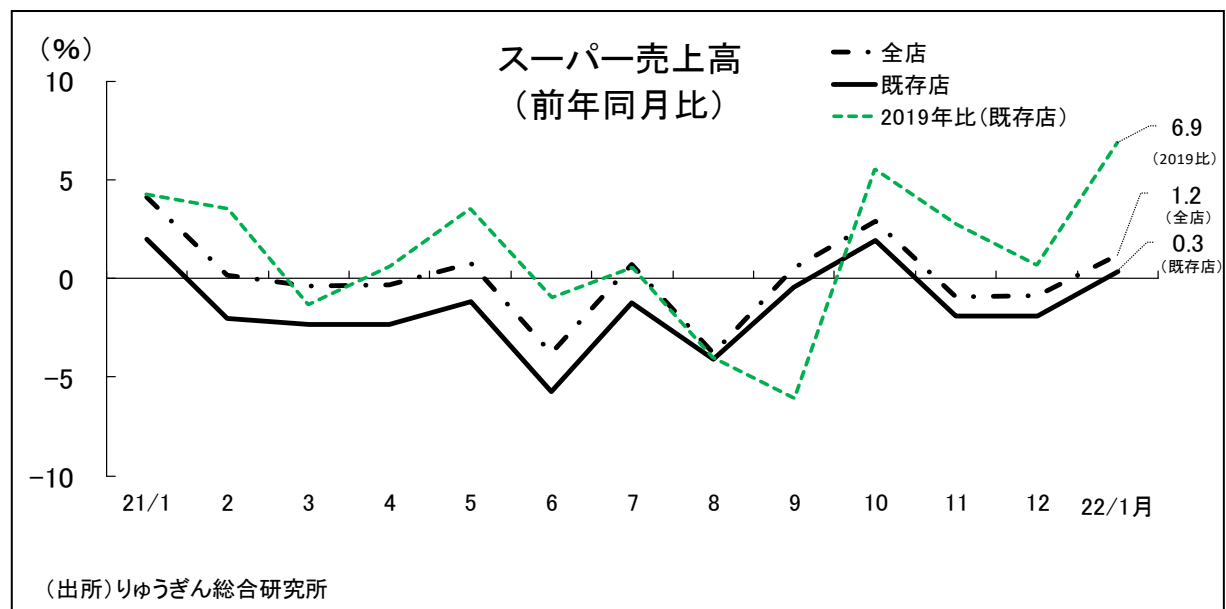
1. 消費関連

(1) 百貨店売上高：8カ月連続で減少



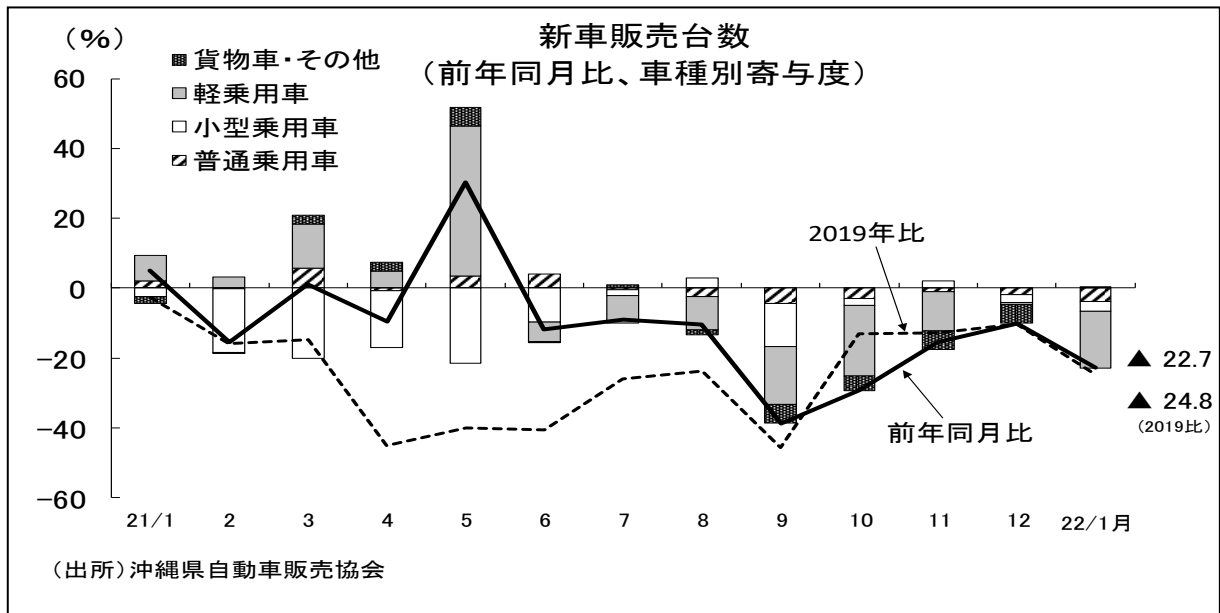
- 百貨店売上高は、前年同月比 16.3%減と 8 カ月連続で前年を下回った。初商は好調に推移したものの、オミクロン株の感染急拡大、まん延防止等重点措置発出に伴う外出自粛・消費マインド低下などにより前年を下回った。
- 品目別にみると、食料品が同 2.4%減、身の回り品が同 7.8%減、衣料品が同 14.9%減、家庭用品・その他が同 30.8%減となった。
- 新型コロナ以前の 2019 年と比較した伸び率は、52.6%の減少となった。

(2) スーパー売上高：全店ベースは 3 カ月ぶりに増加



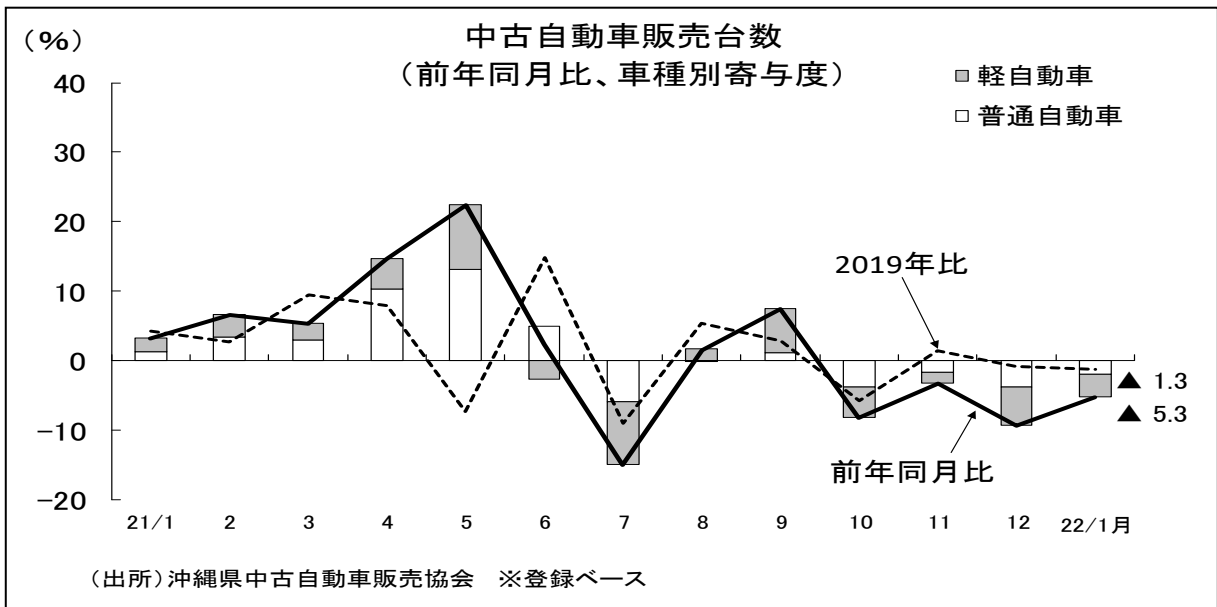
- スーパー売上高は、既存店ベースでは前年同月比 0.3%増と 3 カ月ぶりに前年を上回った。
- まん延防止等重点措置発出に伴う外出自粛・消費マインド低下などにより衣料品は同 14.9%減、住居関連は同 3.5%減となったものの、巣ごもり需要の継続がみられたことなどにより食料品は同 2.2%増となった。
- 全店ベースでは、同 1.2%増と 3 カ月ぶりに前年を上回った。
- 新型コロナ以前の 2019 年と比較すると、既存店ベースでは 6.9%の増加となった。

(3) 新車販売台数：8カ月連続で減少



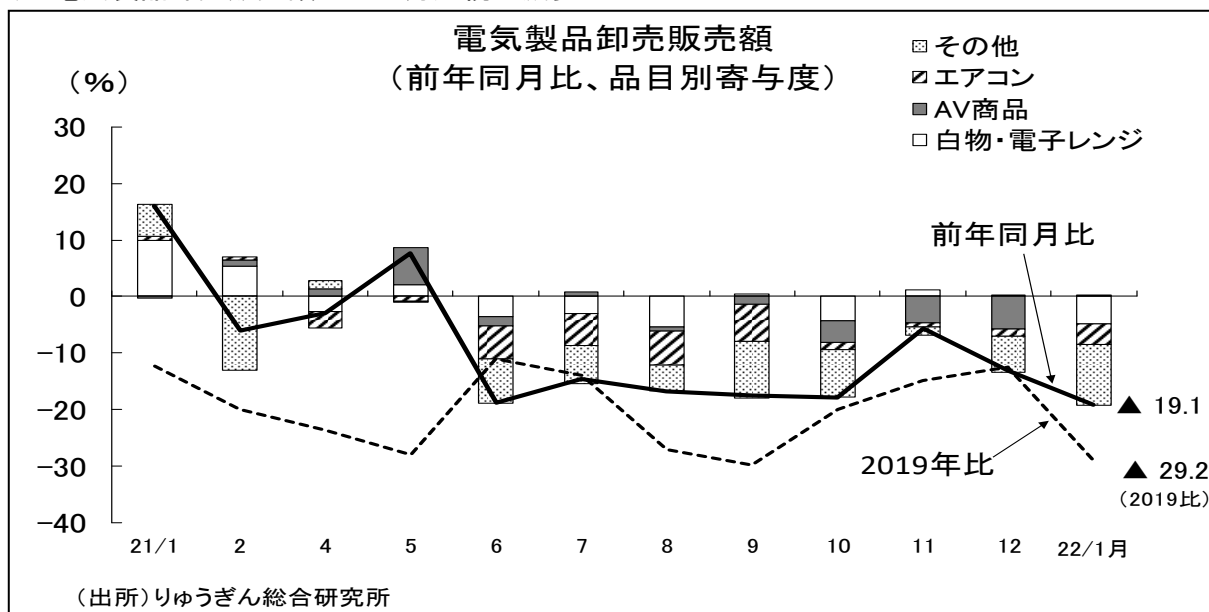
- ・ 新車販売台数は2,687台で前年同月比22.7%減と8カ月連続で前年を下回った。半導体をはじめとする部品供給不足に加え、国内工場での感染者発生による稼働停止が相次いだことなどから前年を下回った。
- ・ 普通自動車（登録車）は1,078台（同19.8%減）で、うち普通乗用車は465台（同26.6%減）、小型乗用車は484台（同17.0%減）であった。軽自動車（届出車）は1,609台（同24.6%減）で、うち軽乗用車は1,174台（同32.3%減）であった。
- ・ 新型コロナ以前の2019年と比較した伸び率は、24.8%の減少となった。

(4) 中古自動車販売台数（登録ベース）：4カ月連続で減少



- ・ 中古自動車販売台数（普通自動車及び軽自動車の合計、登録ベース）は1万5,937台で前年同月比5.3%減と4カ月連続で前年を下回った。
- ・ 内訳では、普通自動車は5,909台（同5.3%減）、軽自動車は1万28台（同5.3%減）となった。
- ・ 新型コロナ以前の2019年と比較した伸び率は、同1.3%の減少となった。

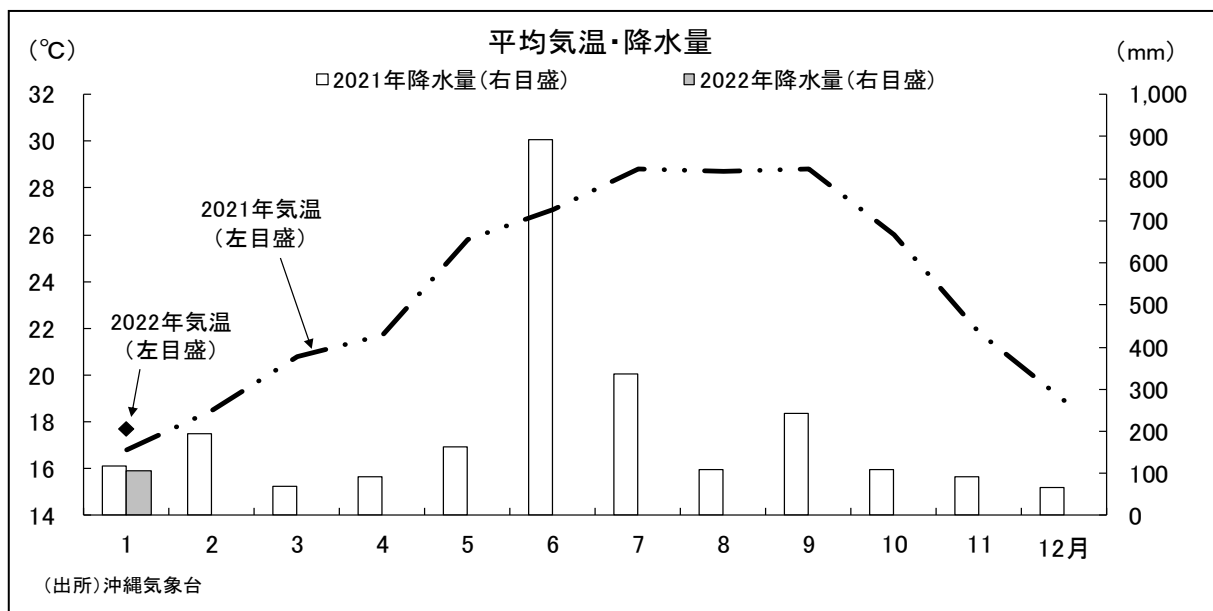
(5) 電気製品卸売販売額：8カ月連続で減少



- ・ 電気製品卸売販売額は、家電量販店向け販売で白物・電子レンジ、エアコンなどが減少したことなどから、前年同月比 19.1%減と8カ月連続で前年を下回った。
- ・ 品目別にみると、白物では洗濯機が同 29.4%減、冷蔵庫が同 0.9%減、A V 商品は同 1.7%増、エアコンは同 36.2%減、その他は同 22.0%減となった。
- ・ 新型コロナ以前の 2019 年と比較した伸び率は、同 29.2%の減少となった。

(参考)

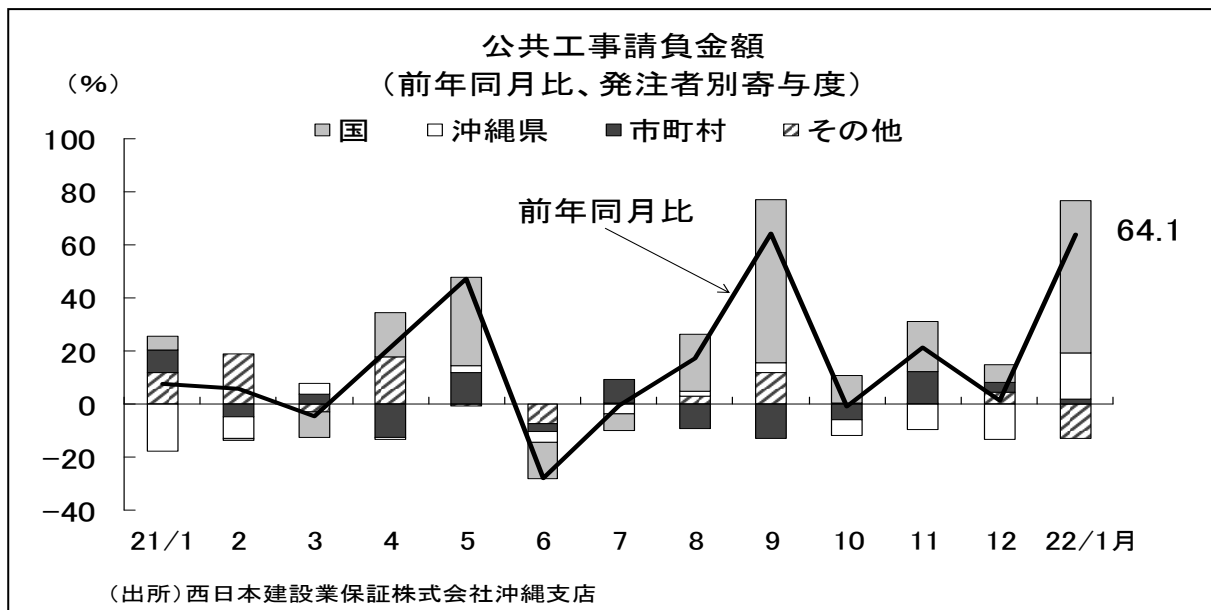
◇ 気象: 平均気温・降水量（那覇）



- ・ 平均気温は 17.7℃となり、前年同月（16.8℃）より高く、降水量は 106.0mmで前年同月（118.5 mm）より少なかった。
- ・ 前線や気圧の谷、大陸の高気圧の張り出しに伴う寒気などの影響で曇りや雨の日が多く、大雨や荒れた天気となった所があった。平均気温は平年より高く、降水量、日照時間は平年並みとなった。

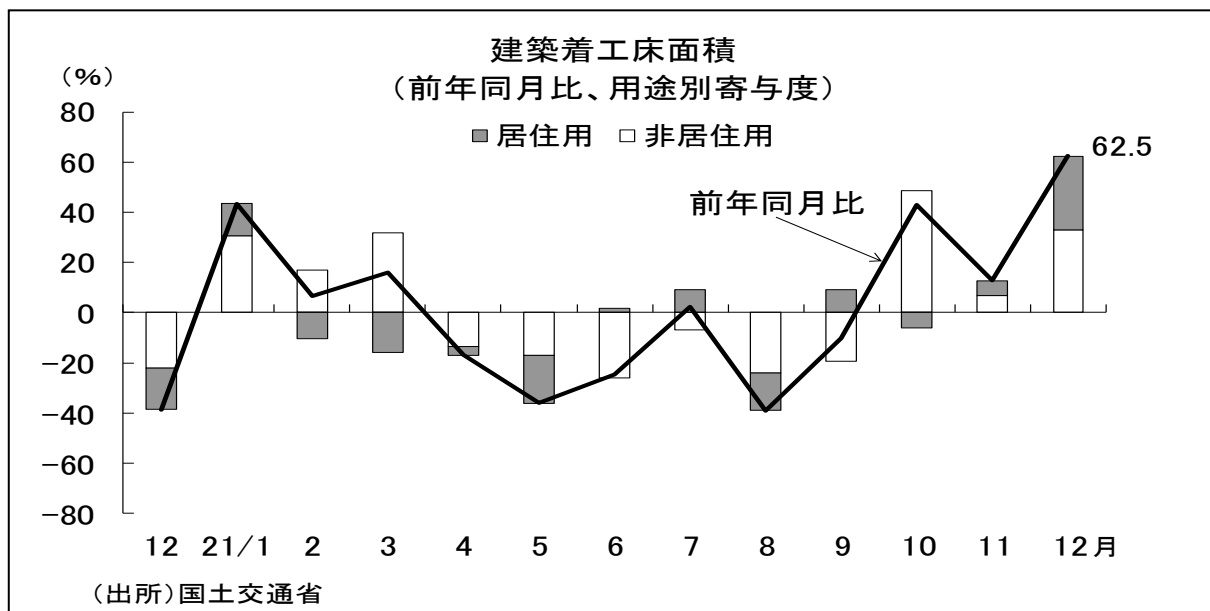
2. 建設関連

(1) 公共工事請負金額：3カ月連続で増加



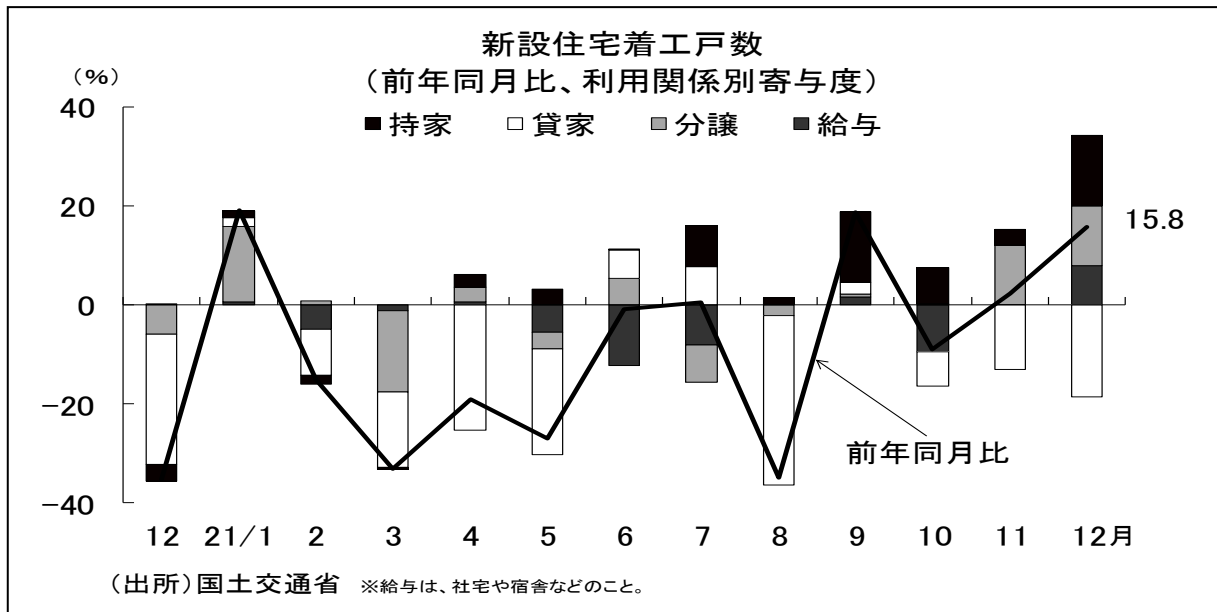
- 公共工事請負金額は、268 億 1,544 万円で、独立行政法人等・その他は減少したが、国、県、市町村は増加したことから前年同月比 64.1%増となり、3カ月連続で前年を上回った。
- 発注者別では、国（同 190.1%増）、県（同 129.7%増）、市町村（同 5.4%増）は増加し、独立行政法人等・その他（同 74.9%減）は減少した。

(2) 建築着工床面積：3カ月連続で増加



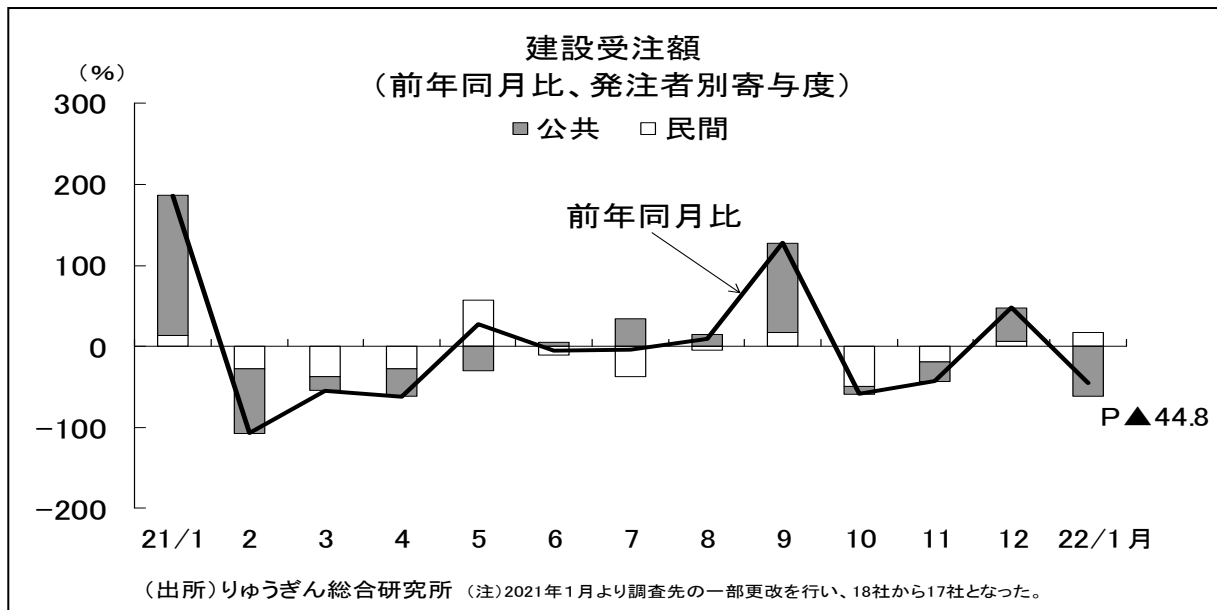
- 建築着工床面積（12月）は 13 万 6,451 ㎡となり、居住用、非居住用ともに増加したことから前年同月比 62.5%増と 3カ月連続で前年を上回った。用途別では、居住用は同 40.8%増となり、非居住用は同 120.1%増となった。
- 建築着工床面積を用途別（大分類）にみると、居住用では、居住専用は増加し、居住産業併用は減少した。非居住用では、公務用や医療、福祉用などが増加し、飲食店・宿泊業用などが減少した。

(3) 新設住宅着工戸数：2カ月連続で増加



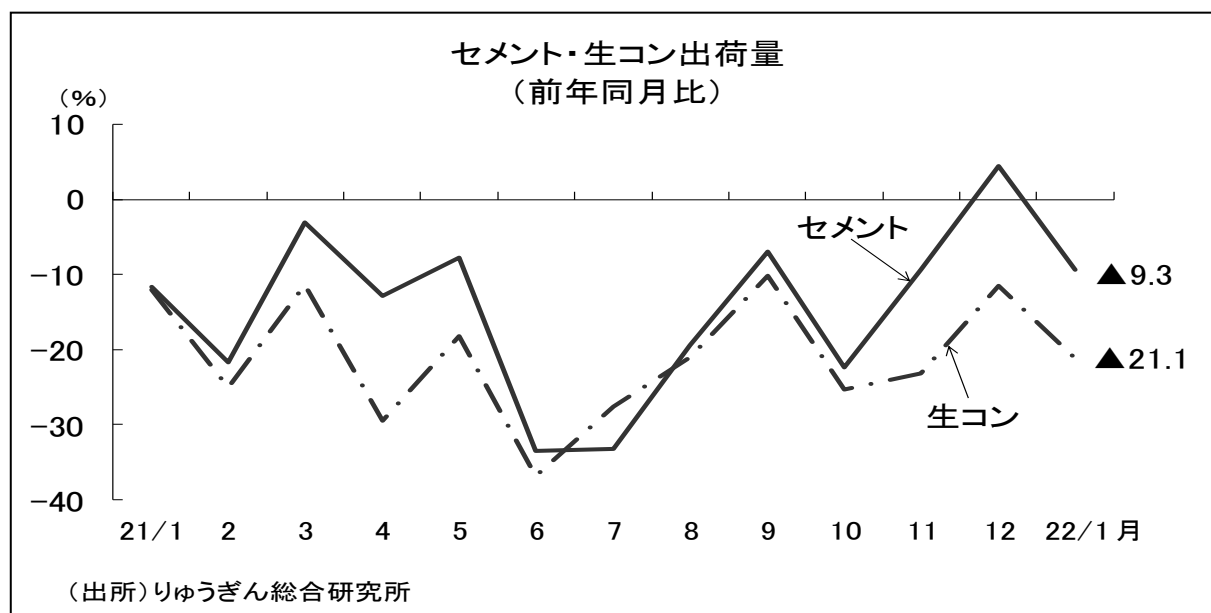
- ・ 新設住宅着工戸数（12月）は931戸となり、貸家は減少したが、持家、分譲、給与は増加したことから前年同月比15.8%増と2カ月連続で前年を上回った。
- ・ 利用関係別では、持家（304戸）が同60.8%増、分譲（212戸）が同82.8%増、給与（154戸）が同73.0%増と増加し、貸家（261戸）が同36.3%減と減少した。

(4) 建設受注額：2カ月ぶりに減少



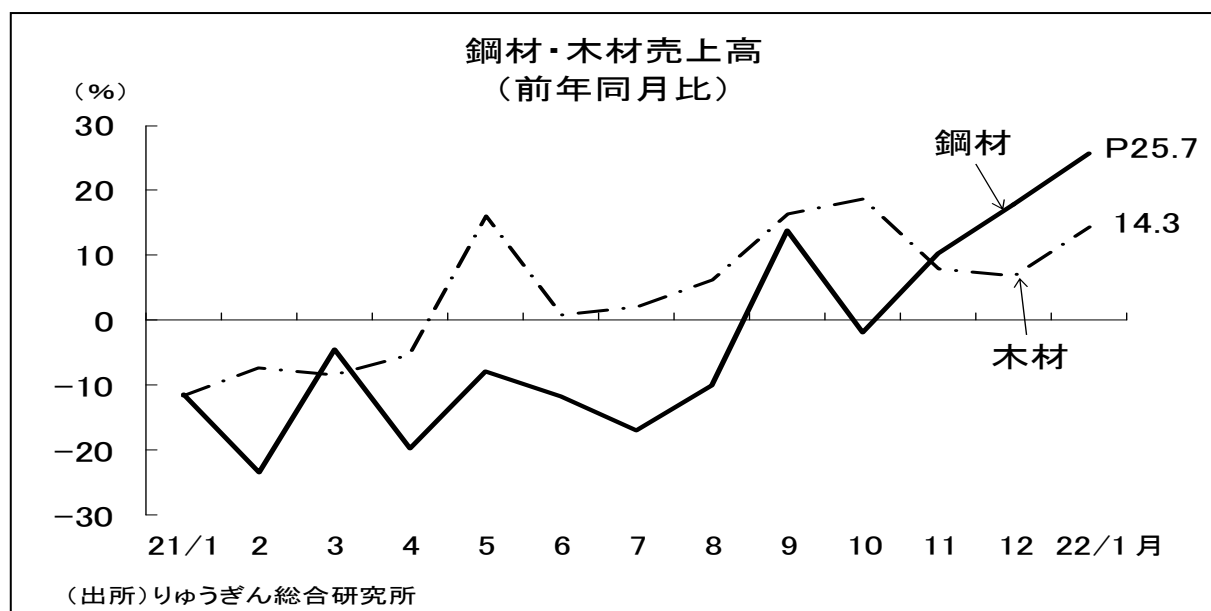
- ・ 建設受注額（調査先建設会社：17社、速報値）は、民間工事は増加したものの、公共工事は減少したことから、前年同月比44.8%減と2カ月ぶりに前年を下回った。
- ・ 発注者別では、公共工事（同76.1%減）は2カ月ぶりに減少し、民間工事（同88.2%増）は2カ月連続で増加した。

(5) セメント・生コン：セメントは2カ月ぶりに減少、生コンは19カ月連続で減少



- ・ セメント出荷量は5万8,042トンとなり、前年同月比9.3%減と2カ月ぶりに前年を下回った。
- ・ 生コン出荷量は9万581 m³で同21.1%減となり、19カ月連続で前年を下回った。
- ・ 生コン出荷量を出荷先別にみると、公共工事では、公共施設向けなどが増加し、海事工事向けや学校関連向けなどが減少した。民間工事では、戸建住宅向けなどが増加し、宿泊施設向けや電力関連向けなどが減少した。

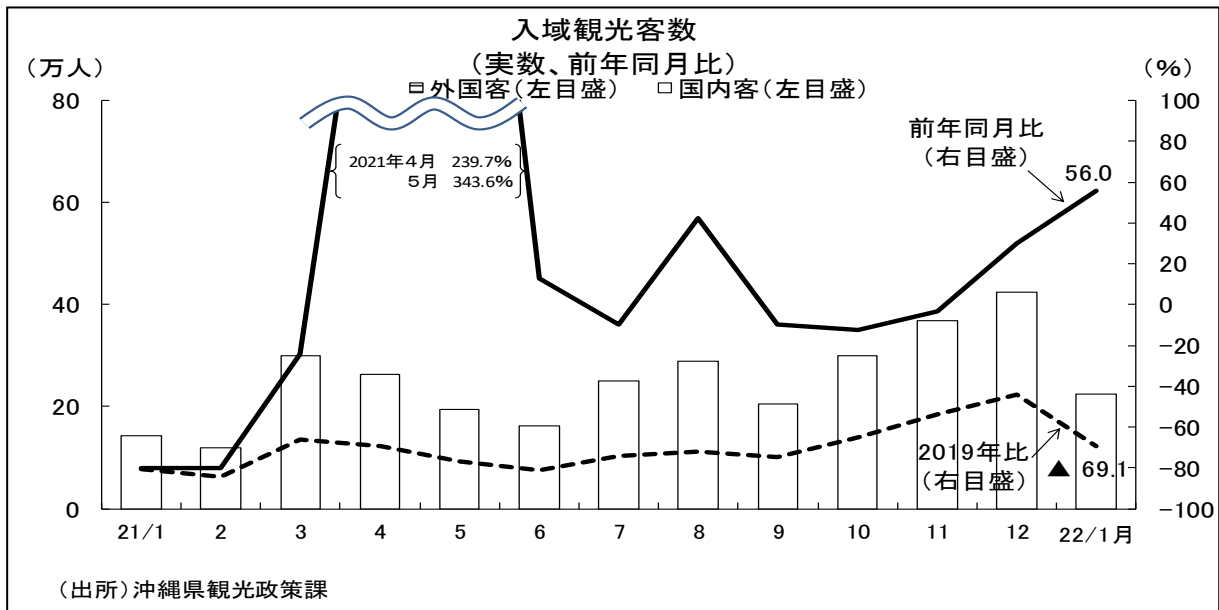
(6) 鋼材・木材：鋼材は3カ月連続で増加、木材は9カ月連続で増加



- ・ 鋼材売上高（速報値）は、鉄スクラップなど原材料の需給ひっ迫により単価の上昇がみられることなどから前年同月比25.7%増と3カ月連続で前年を上回った。
- ・ 木材売上高は、需給ひっ迫により木材価格が上昇したことなどから同14.3%増と9カ月連続で前年を上回った。

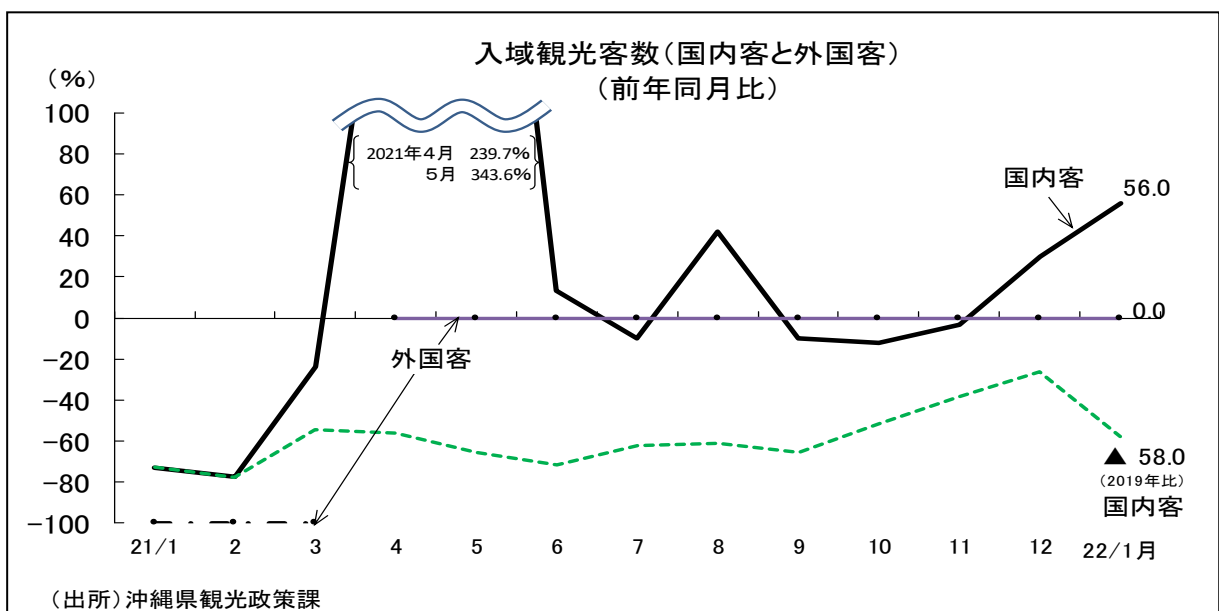
3. 観光関連

(1) 入域観光客数：2カ月連続で増加



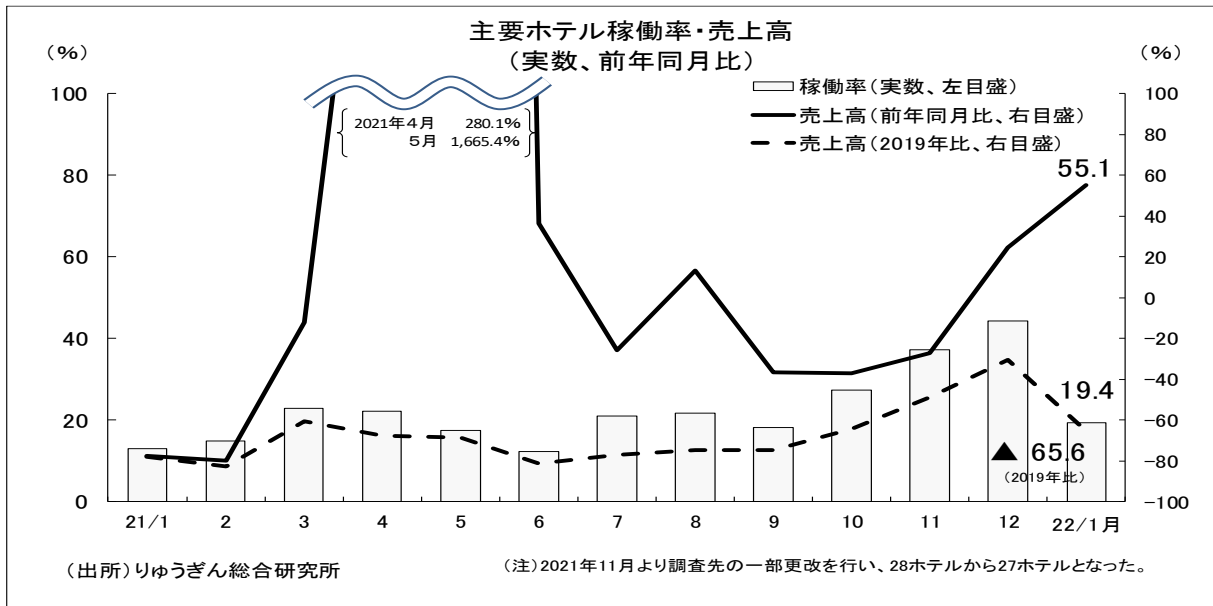
- 入域観光客数は、22万4,600人(前年同月比56.0%増)となり、2カ月連続で前年を上回った。
- 路線別では、空路は22万3,800人(同56.3%増)となり2カ月連続で前年を上回った。海路は800人となり前年と同水準となった。
- オミクロン株の急拡大を受けまん延防止等重点措置が発出されたことで、急激な旅行需要の減退がみられたが、前年同月は緊急事態宣言が発出されていたこともあり前年比は上昇した。
- 新型コロナ以前の2019年と比較した伸び率は69.1%の減少となった。

(2) 入域観光客数(国内客、外国客)：国内客は増加、外国客は22カ月連続で0人



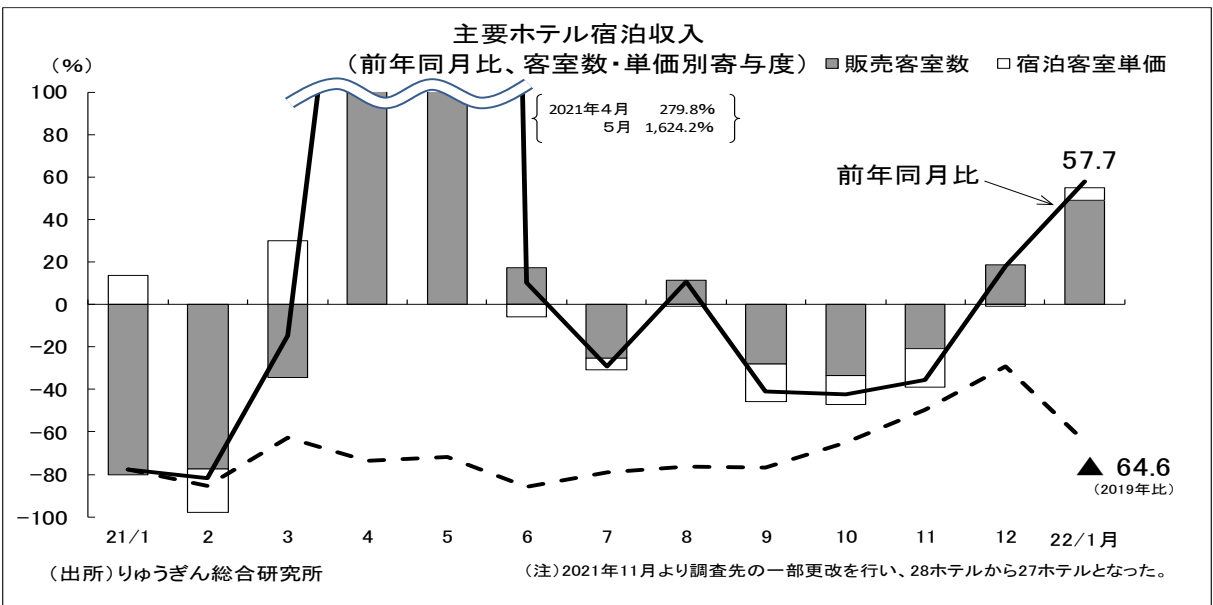
- 国内客は、22万4,600人(前年同月比56.0%増)となり、2カ月連続で前年を上回った。
- 外国客は、2020年4月以降22カ月連続で0人となった。
- 新型コロナ以前の2019年と比較した伸び率は、国内客は58.0%の減少、外国客は全減となった。

(3) 主要ホテル稼働率・売上高：稼働率、売上高ともに2カ月連続で増加



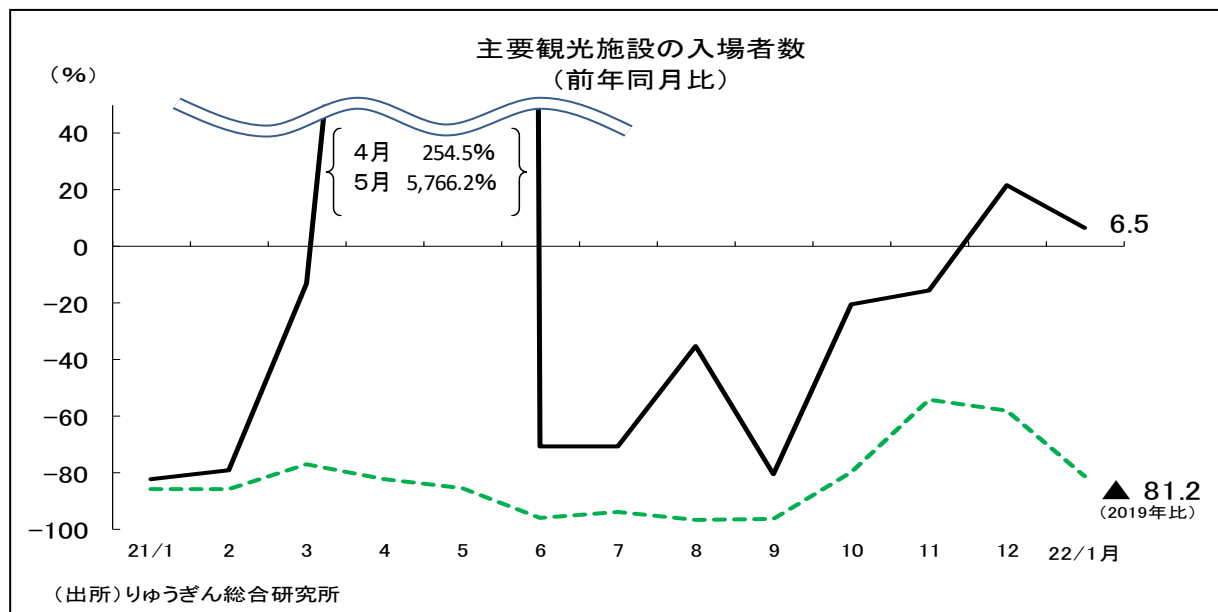
- ・ 主要ホテルは、客室稼働率は19.4%と前年同月差6.4%ポイント上昇、売上高は前年同月比55.1%増となり、稼働率、売上高ともに2カ月連続で前年を上回った。那覇市内ホテルの客室稼働率は22.2%と同7.7%ポイント上昇、売上高は同34.0%増となり、稼働率、売上高ともに2カ月連続で前年を上回った。リゾート型ホテルの客室稼働率は18.3%と同5.9%ポイント上昇、売上高は同59.9%増と、稼働率、売上高ともに2カ月連続で前年を上回った。
- ・ 新型コロナ以前の2019年と比較した売上高は、全体は65.6%の減少、那覇市内ホテルは75.2%減少、リゾート型ホテルは62.8%減少となった。

(4) 主要ホテル宿泊収入：2カ月連続で増加



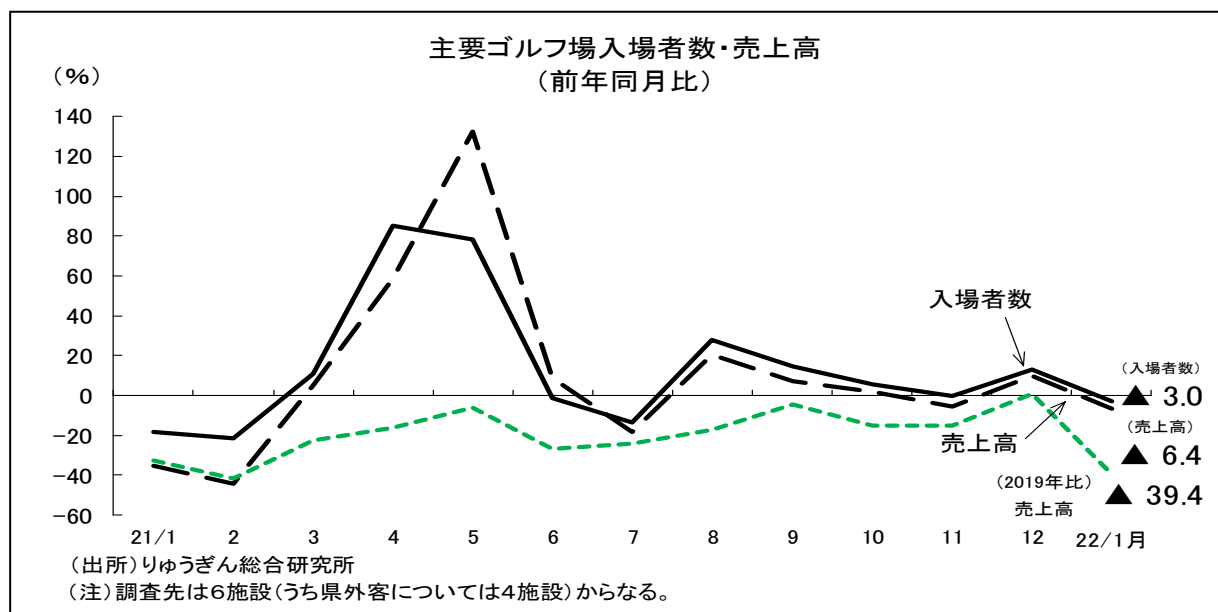
- ・ 主要ホテル売上高のうち宿泊収入は、販売客室数（数量要因）増加、宿泊客室単価（価格要因）は上昇し、前年同月比57.7%増と2カ月連続で前年を上回った。那覇市内ホテルは販売客室数が増加、宿泊客室単価は低下し、同28.8%増と2カ月連続で前年を上回った。リゾート型ホテルは販売客室数が増加、宿泊客室単価が上昇し、同64.0%増と2カ月連続で前年を上回った。
- ・ 新型コロナ以前の2019年と比較した宿泊収入は、全体は64.6%の減少、那覇市内ホテルは76.1%減少、リゾート型ホテルは61.4%減少となった。

(5) 主要観光施設の入場者数：2カ月連続で増加



- ・ 主要観光施設の入場者数前年同月比 6.5%増と2カ月連続で前年を上回った。
- ・ まん延防止等重点措置が発出され客足が少なかったものの、前年同月は首都圏や沖縄県内に緊急事態宣言が発出されていたことから前年比では増加となった。
- ・ 新型コロナ以前の2019年と比較した入場者数は、81.2%減少となった。

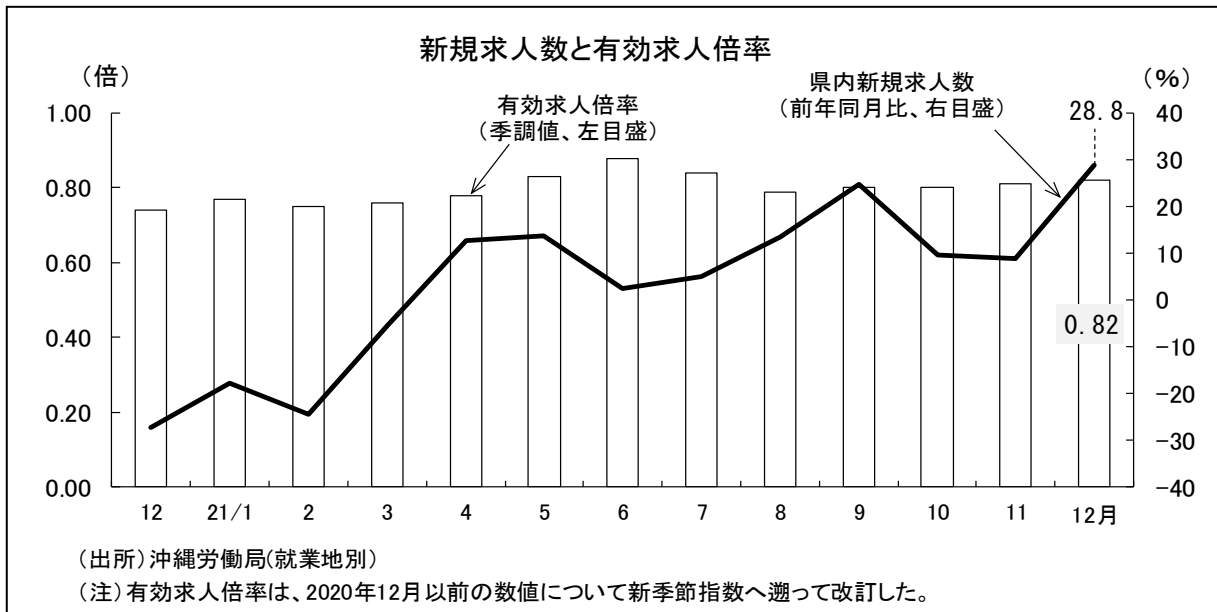
(6) 主要ゴルフ場入場者数・売上高：入場者数、売上高ともに2カ月ぶりに減少



- ・ 主要ゴルフ場の入場者数は、前年同月比 3.0%減と2カ月ぶりに前年を下回った。県内客は2カ月ぶりに前年を下回り、県外客は3カ月連続で前年を上回った。売上高は同 6.4%減と2カ月ぶりに前年を下回った。
- ・ まん延防止等重点措置が発出され、コンペ等のキャンセルが多く発生した。また県外客の予約のキャンセル増加に伴い、単価の低い県内客プランの販売へシフトしたことが売上高に影響した。
- ・ 新型コロナ以前の2019年と比較すると、入場者数は 20.7%減少(県内客、県外客ともに減少)、売上高は 39.4%の減少となった。

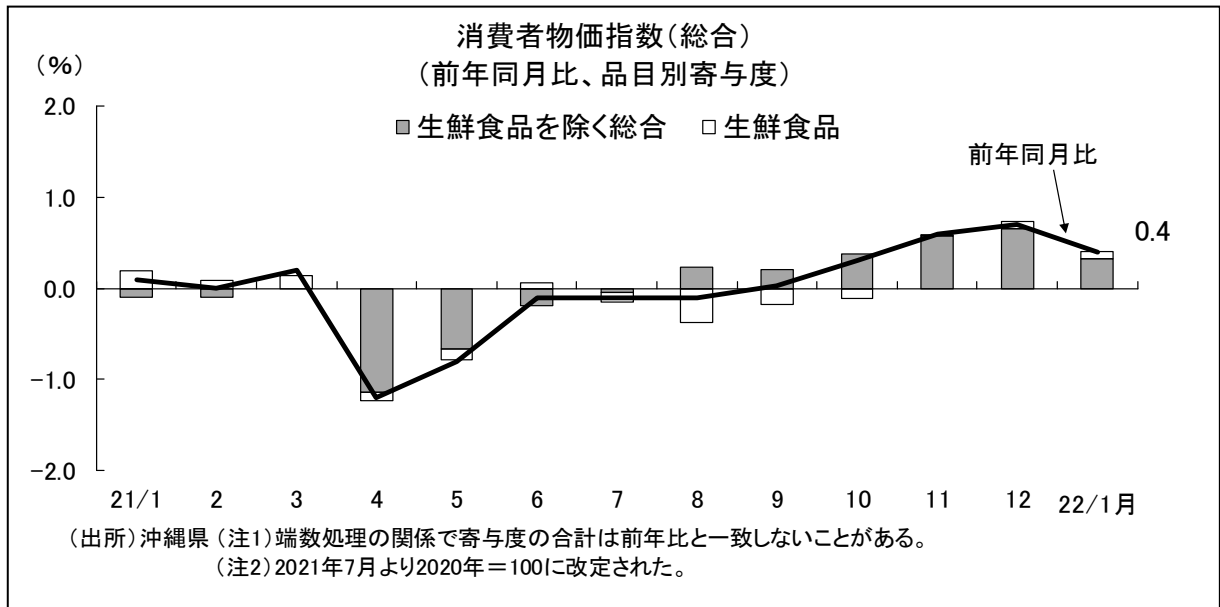
4. その他

(1) 雇用関連（再掲）：新規求人数は増加、有効求人倍率（季調値）は上昇



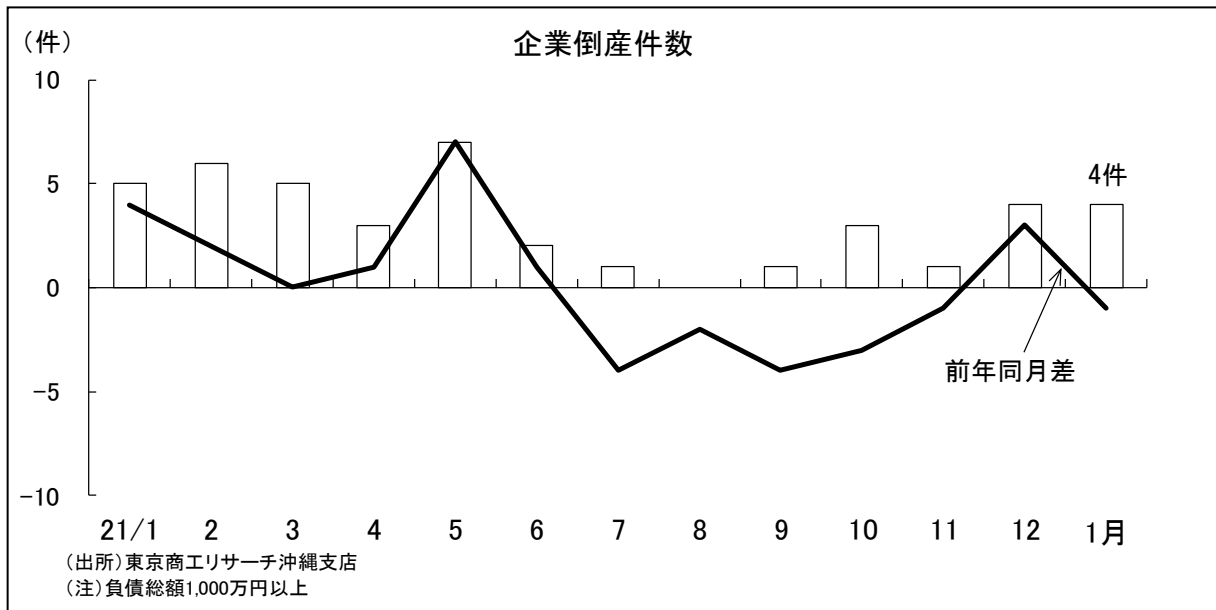
- ・ 新規求人数（12月）は、前年同月比 28.8% 増となり 9 カ月連続で前年を上回った。産業別にみると、医療・福祉、宿泊業・飲食サービス業などで増加した。有効求人倍率（12月、季調値）は 0.82 倍で、前月より 0.01 ポイント上昇した。
- ・ 労働力人口（12月）は、77 万 4,000 人で同 1.8% 増となり、就業者数は、74 万 8,000 人で同 1.9% 増となった。完全失業者数は 2 万 6,000 人で前年と同水準となり、完全失業率（12月、季調値）は 3.8% と、前月より 0.4 ポイント上昇した。

(2) 消費者物価指数：4 カ月連続で上昇



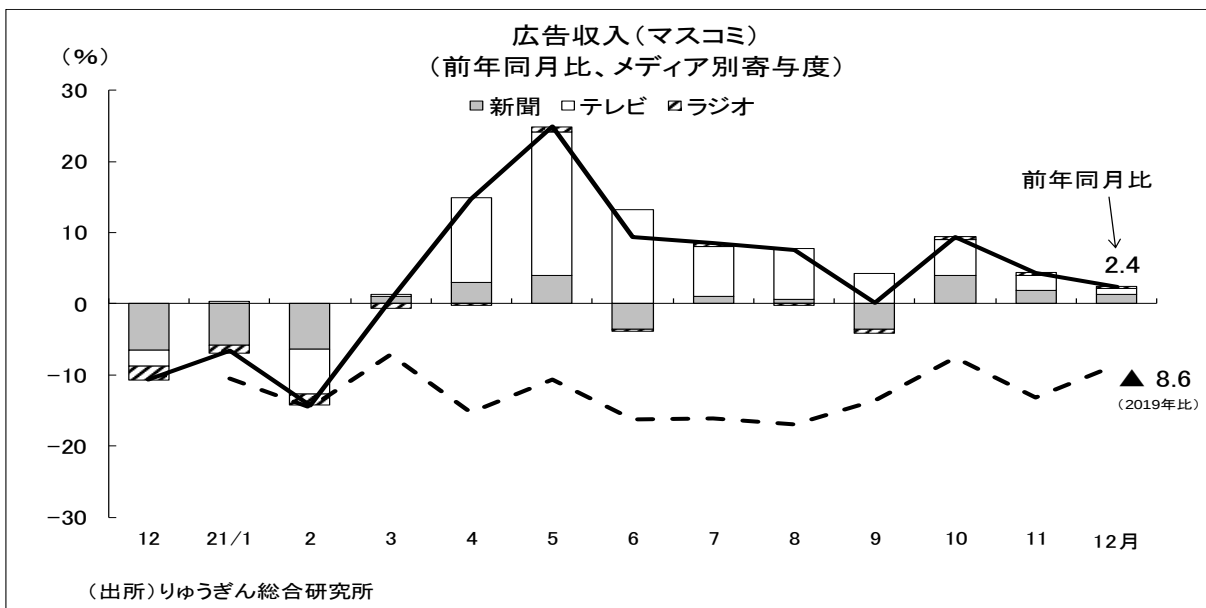
- ・ 消費者物価指数は、前年同月比 0.4% の上昇となり、4 カ月連続で前年を上回った。生鮮食品を除く総合は同 0.3% の上昇となった。生鮮食品及びエネルギーを除く総合は同 1.4% の下落となった。
- ・ 品目別の動きをみると、光熱・水道、食料などは上昇し、交通・通信などは下落した。

(3) 企業倒産：件数は減少、負債総額は増加



- ・ 倒産件数は、4件で前年同月を1件下回った。業種別では、小売業1件（同1件増）、情報通信業1件（同数）、サービス業他2件（同1件減）となった。
- ・ 負債総額は28億1,900万円で、前年同月比803.5%増となった。

(4) 広告収入（マスコミ）：10カ月連続で増加



- ・ 広告収入（マスコミ：12月）は、前年同月比2.4%増と10カ月連続で前年を上回った。
- ・ 新型コロナウイルス感染状況の落ち着きから、イベント等が徐々に再開されたことで、前年比増加となった。
- ・ 新型コロナ以前の2019年と比較すると、8.6%の減少となった。

沖縄県内の主要経済指標……………17

〃 金融統計……………19

沖縄県内の主要経済指標(その1)

	百貨店 売上高	スーパー 売上高 (既存店)	スーパー 売上高 (全 店)	電気製品 卸売額	新車販売 台 数	中古自動 車販売台 数	公共工事請負額		建築着工床面積	
暦年	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	百万円	前年比	千平米	前年比
2019	▲ 4.8	▲ 0.1	1.4	11.3	▲ 0.7	3.6	326,534	▲ 5.8	1,849	▲ 19.4
2020	▲ 35.1	0.4	2.5	▲ 2.8	▲ 17.1	0.5	308,119	▲ 5.6	1,555	▲ 15.9
2021	▲ 7.9	▲ 1.7	▲ 0.2	▲ 8.8	▲ 11.0	1.7	344,381	11.8	1,571	1.0
2020 12	▲ 19.3	0.6	2.4	0.8	▲ 0.2	9.4	17,672	▲ 21.9	84	▲ 38.6
2021 1	▲ 37.7	2.0	4.1	16.1	4.9	3.2	16,342	7.9	121	43.5
2	▲ 22.6	▲ 2.0	0.1	▲ 6.1	▲ 15.6	6.6	15,448	5.8	121	6.5
3	▲ 3.5	▲ 2.3	▲ 0.4	▲ 2.9	1.0	5.4	34,094	▲ 4.5	203	15.9
4	113.0	▲ 2.3	▲ 0.3	▲ 23.1	▲ 9.5	14.6	28,352	21.3	146	▲ 16.8
5	56.4	▲ 1.2	0.8	7.7	30.4	22.4	28,056	47.3	87	▲ 36.1
6	▲ 34.3	▲ 5.7	▲ 3.8	▲ 18.8	▲ 11.7	2.3	21,608	▲ 27.9	122	▲ 24.5
7	▲ 20.8	▲ 1.2	0.7	▲ 14.6	▲ 9.1	▲ 15.0	44,439	▲ 0.3	129	2.2
8	▲ 13.7	▲ 4.1	▲ 3.8	▲ 16.8	▲ 10.5	1.5	35,562	17.2	90	▲ 38.9
9	▲ 1.2	▲ 0.4	0.5	▲ 17.5	▲ 38.7	7.4	53,814	64.3	89	▲ 10.1
10	▲ 3.0	1.9	2.9	▲ 17.9	▲ 29.3	▲ 8.2	26,721	▲ 0.6	200	42.8
11	▲ 0.5	▲ 1.9	▲ 0.9	▲ 5.7	▲ 15.6	▲ 3.3	21,981	21.6	127	12.7
12	▲ 7.2	▲ 1.9	▲ 0.9	▲ 13.2	▲ 10.1	▲ 9.3	17,959	1.6	136	62.5
2022 1	▲ 16.3	0.3	1.2	▲ 19.1	▲ 22.7	▲ 5.3	26,815	64.1	-	-
出所	りゅうぎん総合研究所調べ				自販協	中古 自販協	西日本建設業保証 沖縄支店		国土交通省	

注) 百貨店売上高は、2014年9月より調査先が一部変更となった。

注) 新車販売台数の出所は沖縄県自動車販売協会、中古自動車販売台数は沖縄県中古自動車販売協会。

	新設住宅着工戸数		建 設 受注額	セメント 出荷数量	生コン 出荷数量	鋼 材 売上高	木 材 売上高	観光施設 入場者数	ゴルフ場 入場者数	広告 収入
暦年	戸	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比
2019	15,098	▲ 10.1	▲ 11.9	0.3	1.4	4.0	7.2	▲ 3.4	▲ 0.9	▲ 2.2
2020	10,703	▲ 29.1	3.1	▲ 10.0	▲ 10.4	▲ 11.6	▲ 11.6	▲ 72.1	▲ 7.6	▲ 15.7
2021	9,668	▲ 9.7	▲ 13.2	▲ 15.4	▲ 21.1	▲ 5.7	3.1	▲ 42.1	8.6	3.9
2020 12	804	▲ 35.4	94.3	▲ 14.6	▲ 9.3	▲ 12.7	▲ 3.1	▲ 65.4	0.4	▲ 10.7
2021 1	798	19.1	186.3	▲ 11.7	▲ 12.0	▲ 11.5	▲ 11.7	▲ 82.4	▲ 18.2	▲ 6.7
2	751	▲ 15.0	▲ 107.4	▲ 21.7	▲ 25.1	▲ 23.5	▲ 7.4	▲ 79.2	▲ 21.4	▲ 14.2
3	731	▲ 33.2	▲ 54.9	▲ 3.0	▲ 11.4	▲ 4.5	▲ 8.4	▲ 13.1	11.0	0.6
4	913	▲ 19.1	▲ 61.9	▲ 12.9	▲ 29.5	▲ 19.9	▲ 5.4	254.5	84.9	14.7
5	744	▲ 27.0	27.0	▲ 7.8	▲ 18.2	▲ 7.8	16.0	5,766.2	78.4	24.9
6	761	▲ 0.8	▲ 5.6	▲ 33.6	▲ 36.8	▲ 11.7	0.8	▲ 70.7	▲ 1.6	9.4
7	901	0.6	▲ 3.6	▲ 33.2	▲ 27.6	▲ 17.1	2.0	▲ 70.6	▲ 13.6	8.5
8	646	▲ 34.9	8.9	▲ 19.5	▲ 21.0	▲ 10.0	6.2	▲ 35.3	27.8	7.5
9	713	18.8	127.4	▲ 7.0	▲ 10.2	13.8	16.4	▲ 80.4	14.6	0.2
10	897	▲ 8.9	▲ 58.6	▲ 22.3	▲ 25.3	▲ 1.9	18.7	▲ 19.3	5.8	9.3
11	882	2.3	P▲ 43.0	▲ 9.4	▲ 23.2	10.3	7.8	▲ 13.4	▲ 0.2	4.3
12	931	15.8	P47.6	4.4	▲ 11.5	17.9	6.8	25.5	13.1	2.4
2022 1	-	-	P▲ 44.8	▲ 9.3	▲ 21.1	P25.7	14.3	6.5	▲ 3.0	-
出所	国土交通省		りゅうぎん総合研究所調べ							

注) 建設受注額は、2021年1月より調査先を18社から17社とした。

注) ゴルフ場入場者数は、2021年4月より調査先を8ゴルフ場から6ゴルフ場とした。

沖縄県内の主要経済指標(その2)

暦年	入域観光客数		入域観光客数のうち外国客		ホテル稼働率 (実数)		ホテル売上高 (前年比)		鉱工業生産指数 (季調値)	
	千人	前年比	千人	前年比	市内	リゾート	市内	リゾート	2015年=100	前年比
2019	10,163.9	3.2	2,930.0	0.9	80.9	69.7	▲ 1.3	▲ 3.4	87.1	▲ 3.2
2020	3,736.6	▲ 63.2	256.9	▲ 91.2	31.7	31.6	▲ 65.2	▲ 58.8	76.0	12.9
2021	3,016.7	▲ 19.3	0.0	▲ 100.0	24.3	22.2	▲ 30.4	▲ 20.0		
2020 12	326.2	▲ 56.8	0.0	▲ 100.0	38.8	36.6	▲ 63.8	▲ 38.4	72.1	▲ 7.5
2021 1	144.0	▲ 80.2	0.0	▲ 100.0	13.7	12.4	▲ 82.5	▲ 76.8	77.2	▲ 7.9
2	118.8	▲ 79.9	0.0	▲ 100.0	18.3	13.1	▲ 77.8	▲ 81.3	81.2	▲ 18.9
3	299.2	▲ 24.5	0.0	▲ 100.0	24.4	22.1	▲ 33.7	▲ 9.2	94.4	▲ 14.8
4	262.6	239.7	0.0	0.0	21.4	22.3	118.6	338.8	81.1	▲ 10.8
5	195.2	343.6	0.0	0.0	16.8	17.4	526.4	2,358.3	72.2	10.2
6	162.9	13.0	0.0	0.0	15.0	11.3	3.9	78.4	68.2	▲ 7.9
7	250.4	▲ 9.7	0.0	0.0	22.2	20.4	▲ 30.4	▲ 25.5	68.5	▲ 9.8
8	288.2	42.1	0.0	0.0	21.1	21.9	▲ 25.4	17.2	65.7	▲ 10.5
9	204.9	▲ 10.0	0.0	0.0	17.5	18.8	▲ 32.0	▲ 37.5	69.2	▲ 0.8
10	299.0	▲ 12.4	0.0	0.0	27.4	27.9	▲ 21.9	▲ 38.7	77.0	6.0
11	368.0	▲ 3.4	0.0	0.0	41.7	35.6	▲ 4.9	▲ 30.4	74.7	0.1
12	423.5	29.8	0.0	0.0	50.5	42.0	45.6	20.5	84.6	12.0
2022 1	224.6	56.0	0.0	0.0	22.2	18.3	34.0	59.9	—	—
出所	県文化観光スポーツ部 観光政策課				りゅうぎん総合研究所調べ				県企画部統計課	

注) ホテルは、2021年11月より調査先が28ホテルから27ホテルとなった。

注) 2012年5月より外国客の入域観光客数を掲載した。

注) 鉱工業生産指数の暦年値、前年比は原指数の増減率。2019年4月より2015年＝100に改定された。

暦年	企業倒産件数	負債総額		消費者物価指数	失業率 (季調値)	就業者数	有効求人 倍率 (季調値)	新規 求人数 (県内)	通関 輸出	通関 輸入
	件	百万円	前年比	前年比	%	前年比	倍	前年比	百万円	百万円
2019	50	5,714	▲ 54.0	0.4	2.7	2.7	1.34	3.3	31,126	148,698
2020	34	3,640	▲ 36.3	▲ 0.3	3.3	0.1	0.90	▲ 27.2	30,063	120,799
2021	38	10,989	201.9	0.0	3.7	0.4	0.80	0.7	44,890	126,238
2020 12	1	88	▲ 72.3	▲ 0.7	3.9	0.4	0.74	▲ 27.3	1,025	9,511
2021 1	5	312	940.0	0.0	3.9	▲ 0.9	0.77	▲ 17.7	1,516	6,543
2	6	454	▲ 14.3	▲ 0.1	3.7	▲ 1.2	0.75	▲ 24.5	1,338	7,295
3	5	5,753	541.4	0.3	4.4	▲ 1.2	0.76	▲ 5.5	4,472	7,239
4	3	37	23.3	▲ 0.4	3.9	2.9	0.78	12.7	16,931	7,333
5	7	1,359	100.0	▲ 0.2	3.4	0.8	0.83	13.6	1,879	9,946
6	2	337	▲ 31.2	0.5	3.7	0.0	0.88	2.5	1,823	7,891
7	1	154	▲ 82.1	▲ 0.1	4.5	▲ 0.7	0.84	4.9	1,327	11,308
8	0	0	▲ 100.0	▲ 0.1	3.6	0.4	0.79	13.6	1,720	23,380
9	1	26	▲ 69.0	0.0	3.2	0.6	0.80	24.8	1,966	7,481
10	3	434	20.6	0.3	2.4	1.0	0.80	9.7	4,299	14,005
11	1	320	267.8	0.6	3.4	0.7	0.81	8.9	5,492	11,252
12	4	1,803	1,948.9	0.7	3.8	1.9	0.82	28.8	2,126	12,528
2022 1	4	2,819	803.5	0.4	—	—	—	—	1,488	10,830
出所	東京商工リサーチ沖縄支店			県企画部統計課		沖縄労働局		沖縄地区税関		

注) 消費者物価指数は、2021年7月より2020年＝100に改定された。

注) 失業率と有効求人倍率は、2020年12月以前の数値について新季節指数へ遡って改訂した。

注) 有効求人倍率(季調値)と新規求人数は、就業地ベース。

沖縄県内の金融統計

	銀行券 発行額	銀行券 還収額	銀行券 増減 (▲還収超)	貸出 金利 (地銀3行)	手形交換高(金額は億円)				不渡実数 (金額)	不渡 発生率
年度	億円	億円	億円	%	千枚	前年比	金額	前年比	百万円	%
2019FY	2,658	4,076	▲ 1,415	1.465	189	▲ 5.9	3,381	▲ 6.0	5	0.002
2020FY	3,019	2,812	206	1.399	165	▲ 13.1	3,016	▲ 10.8	7	0.002
2021FY	—	—	—	1.356	—	—	—	—	—	—
2020 12	486	179	306	1.399	13	▲ 19.8	218	▲ 24.5	0	0.000
2021 1	77	380	▲ 303	1.396	12	▲ 25.8	212	▲ 27.0	3	0.012
2	189	190	▲ 1	1.389	12	▲ 11.0	216	0.7	0	0.000
3	198	269	▲ 70	1.386	16	▲ 8.0	299	▲ 5.3	0	0.000
4	316	180	136	1.385	14	▲ 7.2	251	▲ 13.6	3	0.012
5	130	284	▲ 154	1.374	13	5.2	242	8.7	0	0.000
6	233	239	▲ 6	1.371	14	▲ 17.3	257	▲ 14.5	0	0.000
7	245	200	45	1.369	12	▲ 20.3	199	▲ 29.9	0	0.000
8	219	225	▲ 6	1.367	14	0.9	281	7.7	0	0.000
9	215	250	▲ 35	1.366	12	▲ 4.7	216	▲ 7.8	0	0.001
10	224	212	11	1.362	11	▲ 16.8	184	▲ 12.4	1	0.005
11	200	197	2	1.364	14	▲ 6.1	243	▲ 9.5	61	0.250
12	510	191	319	1.356	12	▲ 8.7	197	▲ 9.6	6	0.032
2022 1	—	—	—	—	12	3.5	223	4.8	16	0.072
出所	日本銀行那覇支店				那覇手形交換所					

注) 銀行券増減は、端数調整により一致しない場合がある。

注) 貸出金利は、暦年ベース。

注) 不渡発生率は、不渡実数(金額)÷手形交換高(金額)×100

	地銀3行預金量 (信託勘定含む末残)		地銀3行融資量 (信託勘定含む末残)		県内金融機関 の預金残高 (末残)		沖縄振興開発 金融公庫融資量 (末残)		沖縄県信用保証協会 債務残高(末残)	
年度	億円	前年比	億円	前年比	億円	前年比	億円	前年比	億円	前年比
2019FY	49,931	2.6	39,293	1.8	50,358	2.5	8,641	0.6	1,225	1.9
2020FY	55,734	11.6	40,847	4.0	56,384	12.0	10,320	19.4	2,865	133.8
2021FY	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
2020 12	55,474	10.7	40,259	3.9	56,097	11.1	10,392	22.8	2,606	120.8
2021 1	55,315	11.7	40,323	3.9	55,933	12.0	10,378	22.7	2,677	126.6
2	55,647	11.7	40,652	4.4	56,271	12.1	10,387	22.9	2,720	130.0
3	55,734	11.6	40,847	4.0	56,384	12.0	10,320	19.4	2,865	133.8
4	57,066	10.6	40,714	4.2	57,685	10.9	10,326	16.3	2,958	119.2
5	57,305	8.6	40,752	3.5	57,922	8.9	10,327	11.4	2,981	100.3
6	57,507	6.1	40,754	3.0	58,131	6.4	10,378	6.8	2,988	67.6
7	57,281	5.8	40,763	2.5	57,962	6.1	10,422	4.6	2,993	47.8
8	57,394	4.8	40,751	2.0	58,038	5.0	10,419	3.3	2,997	35.5
9	57,072	4.6	41,019	2.4	57,742	4.9	10,534	3.6	2,995	26.8
10	57,462	4.8	41,015	2.5	58,113	5.0	10,513	2.8	2,999	22.3
11	57,690	4.1	40,692	1.5	58,280	4.2	10,491	2.2	2,995	19.1
12	57,604	3.8	41,195	2.3	58,314	4.0	10,470	0.8	3,001	15.2
2022 1	57,616	4.2	40,793	1.2	—	—	10,456	0.8	—	—
出所	沖縄県銀行協会				日本銀行本店		沖縄振興開発金融 公庫		沖縄県信用保証協会	

注) 県内金融機関の預金残高は、19年2月分より日本銀行(本店)ホームページ上で公表している県内預金合計に遡及改訂した。